

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		りんく田原					公表日	2026年3月30日
		チェック項目			工夫している点	課題や改善すべき点		
			はい	いいえ				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事等で兄弟の受け入れの機会はあるが、安全面を考慮し、今後は適切な職員体制を整えていく必要がある。</li> <li>・児童が複数名来所する時に送迎が重なって教室にいる職員が1人の時があるので、2人以上はいた方が児童の安全を確保できると思う。</li> </ul>		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		児童でも移動可能な椅子や円卓などを配置する事で、状況に応じて、児童自身に活動スペースを確保させるように工夫されている	トイレの場所、手洗い場（方法）、デスク場所など、利用する際の手順などをイラストや文字で“見える化”する必要のある部分などあるので、環境改善はしていきたい。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		児童が利用する円卓や、食事等でゴミを出した際には、児童自らに円卓を拭いたり、床のゴミ拾いを促したりする事で、児童自身で心地良く過ごせる環境の構築に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習と余暇時間の際の場所が同じではあるもので、子ども達にも教室のマナーを理解してもらいながら、環境の位置なども見直して自然と座って遊べる（過ごす）ような教室づくりを考えていきたい。</li> <li>・集中出来る環境やメリハリ出来るような環境を整えたい気持ちはあるが、密封空間を嫌がる児童もいるので、このままで良いのか？と考える事も時たまある。</li> </ul>		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		学習時に周りの声や音が気になる児童は、仕切られている部屋を使用している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな行事でも、下準備や話し合いなども無い為、当日まで自をもち迎える事は出来ていない。全てがチャットなどで報告を受けるだけなので、全体でやる時には全体で集まり話す機会を設けていった方が良さそう。</li> <li>→進捗状況がわかり、周知にも繋がる→保護者などへも誰でも共有が出来るなど利点に繋がると感じる。</li> <li>・運動会やピクニック、ワークショップなど、振り返りや共有が無いので、一部の周知などで解決している部分はあるように感じる。なので、次への改善や反映が難しい。職員も“参加”の部分が多いのではないかと思う。</li> </ul>		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの意見があまりわからない。保護者カフェの共有も無いので、会のイメージも出来ない</li> <li>・事業者の評価は実施しているが、業務改善に繋がっているかは分からない。</li> </ul>		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		<p>会議後のアンケートを行うが、正直反映されないし、誰が見てくれているのかもわからない。教室の“職員の質や関係性の向上”の為に毎月の目的を定めているのかと疑問がある。</p> <p>ある程度、教室としての形や関係性は出来ていると思うので、子ども達の為に支援を考える、統一させる為にはたらく方が良いのではないかと感じる。</p>		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		特に第三者の声を聞けてはいないので、教室間で良い、と判断していたり、改善出来るように動いているが、周りの見られ方はわからない。そういった面で、教室長の立場が大事なと感じる。現場のメンバーが主となる事も大事だが、教室のまとめ役がしっかり助言などをしていながら、一緒に教室の見守り・運営をしていきたい。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル化された研修が実施され、職員の都合に合わせてられるような環境の構築が図られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自発官に関わる事や、療育についての外部の学ぶ機会などの案内などを掲示してもらったり、参加する機会が時にはあったら良いのかな。日々チャットでのやり取りやマネジなど電子化が多いので、生の声を聞く事もどこか刺激を受けると思う。</li> <li>自分のペースで進められるのは利点ではある。</li> <li>・療育に関する研修を行って欲しい</li> </ul>		

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2		・支援プログラムは見た事がないので、共有して欲しい
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	2		・アセスメントやフェイスシートは、年毎に更新していく必要がある。 ・個別支援計画の作成・運用体制が十分に整っていないと感じている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2		・面談やモニタリングなども、チャットでの共有のみなので、直接共有する機会や面談の前の児童情報の振り返りも含め、共通理解や支援について深めていく事が必要だと感じる。 ・職員全員で意見を出し合いながら作成を進めたい
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	4	・現在、個別支援計画書を作成中の児童がいるため、計画に基づいた支援については確認を進めている段階です。	・共有されている部分があるが、共有後支援となると出来てないと感じる
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		アセスメントの内容だと、生活面の事が多いような気がする。日々、学習をメインとしているので、そこも重視した保護者の声も聞きたい。 また、各児童どこをメインとして支援をしていくかの軸を決めたい。整理し周知したい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		子どもの事を第一に考え、満足いく活動になるよう職員同士話し合いをしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・個人的には、子ども達の姿から活動内容を考えたり、興味をもってくれそうな機会をつくるようにしている。今後も、活動内容を考えながら定期的に取り入れていけるようにしていきたいと考えている。 ・子どもの事を第一に考え、満足いく活動になるよう職員同士話し合いをしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	個々にあった学習支援や生活面を配慮しながら、教室間でフォローは出来ていると思う。実際、成長へとも繋がっている部分もある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・その日の流れについては、始業時やその都度職員間でよく連携はとれていると感じる。円滑にまわれている証拠でも感じる。 ・勤務時間開始直後にミーティングを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・振り返ったり話す事はある。 また、日報や翌日に話はできていたり、解決に向けてすぐに対応する事はよく出来ている。 ・打ち合わせは行ってないが、業務日報で振り返りや気づいた点などの共有はしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		現在、支援計画書の評価・反省はまだ実施できていないため、支援の検証・改善への活用は十分とはいえない状況です。今後は評価・振り返りの機会を設け、支援の質の向上につなげていきたいと考えています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1		放課後等デイサービス計画の作成は不十分だと感じる。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			地域交流の機会の提供について、若干取り組みが弱いと感じていて、更に積極的な関わりを図る必要があると思います。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・答えやその児童の思いなどをすぐに伝える(代弁)するのではなく、考える力や気づき力、選択する力を積み重ねるようなはたらきかけ(言葉かけ)をしながら、児童と関わるようにはしている。 豊富な教材や遊具を備え、児童らが主体的に選択し、遊んだり学んだりできる事で、自己決定力育成に努めている。		

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		・現場の声を反映していたり、面談日の直近について伝えてる事が多いように感じる。 また伝える者が、どういふ思いでどういふ内容を重視したいのかわからないので、そこも事前に統一していく必要がありそう。 正直、この1年間を通して、教室長が不在の中で過ごしてきた事がほとんどだと感じるので、教室長もしっかり現場にいる体制は出来る限り整えていきたいと感じる。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			しているとは思うが、情報はあまり共有されていない気がする。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3		学校を卒業した子がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	・ポッチャ大会などでの交流はあり。 ・児童館には行きたいね！と教室間で話は出た事はある。  教室外での活動や社会についての経験も、計画していきたいとは思っている。	もっとあっても良いのかなと感じる
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時に直接伝え合うようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	2		個別支援計画の作成・運用体制が十分に整っていないと感じている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			大きな行事についての保護者への発信は遅い気がする。年間行事などを保護者にも案内してもよさそう。または、早め早めに案内をかけた多くの人が参加出来るよう動いていく必要もありそう。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	5		・臨機応変に対応、と言われている部分もあるが、火災の場合・地震の場合・入り口が塞がれた場合、など様々な場面での基本としての避難方法の周知や実践はしておきたい。 ・職員研修が実施されておらず、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等は共有して欲しい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	4		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	5		・安全計画書がわからない為、また事業所に対応しているのかわからない為。 ・研修や訓練がないため、情報が不明確な部分があるため
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	怪我などの対応や家族（教室間）への報告は、すぐに行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2		改善が必要と感じている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	4		子どもを安全に支援するために、虐待を防止するための研修をして欲しい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	3		身体拘束についての共有は不十分だと感じる。